

仕事の中に「感動」を！（26）

～ 偶然の再会 ～

◇東京出張

今月、所用で東京へ出張しました。途中、昼食をとっていたレストランで、損害保険会社のK部長をお見かけしました。その部長さんは、私が敬愛してやまない業界関係者のお一人です。思いがけない場所での再会でしたので、とてもうれしくなり、私の方からお声かけをしました

◇セミナーの講師として

K部長との初めての出会いは、今から4年前のことです。あるセミナーの講師として、K部長がお見えになりました。K部長は保険業界の中でもユニークな制度を、ごく少数の組織から立ち上げ、大きな事業にされた方です。その事業についてのご講演でした。私自身、かつて生命保険会社で働き、新商品の開発に関わる部門の近くにいた経験もあります。その私から見て、K部長の事業展開は“想像を絶する偉業”と映りました。セミナー終了後、K部長ご自身から開発や普及に際しての苦労話を伺い、畏敬の念を覚えました。

◇ご栄転に際して

K部長の功績に対して、保険会社も“栄転”で遇しました。私はプレス発表でその事を知りました。今から2年ほど前のことです。その直後、K部長とご一緒させて頂く機会がありましたので、私は“御祝”を持参しました。以前、この連載でも取り上げたことのある書籍『仕事の思想』（田坂広志著、PHP文庫）です。「ご栄転おめでとうございます。御祝の品をお持ちしました。」とお渡ししました。

この本をお読み頂いたK部長から、以下のようなお礼のメールが届きました。
～岡武さんが「この本が私の仕事の原点です。」と仰っていたのが理解できた様に思います。送別の記念にとのお気持ち、本当にありがとうございました。（中略）
（この本に書かれているように）いつかお互いに「頂上での再会」を果たすことを念じて、夢の実現に向けて、力を尽くして歩み続けましょう。～

◇最高の御祝返し

私から声をかけられたK部長は、驚かれるとともに、再会を喜んで下さいました。10人ほどの女性の方とご一緒されていたのですが、K部長は「私の部署の女性スタッフです。今、彼女達は保険契約の適正化の中、本当によく頑張ってくれています。今日は、慰労の気持ちを込めて、彼女達を食事に招いたのです。」とお話しされました。皆さんに「京都の『保険のOSS』の岡武です。K部長にはとてもお世話になっております。」とご挨拶したところ、K部長から思いがけないお話がありました。「皆さん、岡武さんですよ。皆さんに紹介させて頂いた『仕事の思想』を最初に私にお贈り下さったのは。」
わずか5分ほどの再会でしたが、“最高の御祝返し”を頂き、本当にうれしい気持ちになりました。「頂上での再会」までの道程は、まだ遙かかなたですが、山の中腹での偶然の再会は、運命の神様からのうれしい贈り物でした。

（保険のOSS 所長 <http://www.oss-ins.jp>）